

「死刑を止めよう」宗教者ネットワーク第 36 回死刑廃止セミナー

仏教者としての死刑



「日本の死刑制度について考える懇話会」での議論から

国民各界及び各層の参加を得て、十分な情報をもとに活発な議論を行い、日本の死刑制度のあるべき方向性について提言することを目的として、2024年2月に設立された「日本の死刑制度について考える懇話会」は、全12回の会議を経て、11月に報告書を取りまとめました。

その「懇話会」に宗教者として参加した戸松義晴師をお招きし、「死刑」に対して仏教者はどうあるべきか、全日本仏教会での議論や、宗教・仏教の観点から見た「死刑」について語っていただきます。

日 時 2025 年 **6 月 26 日** (木) 18:00～20:00
会 場 浄土宗教化研修会館（源光院）
京都市東山区林下町 416
資料代 500 円（会場参加の方のみ、参加申し込みは不要です）
配 信 オンライン配信もございます

申し込み不要、参加は無料です。右記の QR コード
または下記の URL からご視聴ください。

<https://tinyurl.com/m9yzn885>

主 催 「死刑を止めよう」宗教者ネットワーク
facebook <https://www.facebook.com/shikei.tomeyou/>
問 合 せ shikei.tomeyou@gmail.com



戸松義晴（とまつ・よしはる）師

1953年東京生まれ。慶應義塾大学、大正大学大学院、ハーバード大学大学院神学校で学び、浄土宗心光院（東京都港区）の住職に。全日本仏教会（全日仏）では理事長や事務総長を歴任し、現在は世界宗教者平和会議（WCRP）日本委員会理事長も務める。2024年に設立された「日本の死刑制度について考える懇話会」の委員でもある。

